



未来を切り拓く

2025年9月25日(木)発行 文責：石田 浩一

「夢を育む学校創り」

～人権尊重の精神のもと、

自ら学び、心豊かでたくましく生きる

実践力のある生徒の育成～

夏休みを終え、生徒の元気な声が校舎に戻ってきました。大きな事故もなく、全員が元気に2学期を迎えられたことを、心からうれしく思います。夏休み中には、部活動や地域の行事、家族との時間など、さまざまな経験の一つ一つが成長につながったことと思います。

始業式では、「対話をとおして、ともに行事を乗り越え、大きく成長してほしい。」と話しました。行事の多い今学期は、仲間と意見を出し合い、時にはぶつかり合いながらも協力して取り組むことが求められます。思うようにいかないこともあるかもしれませんが、対話を重ねることで互いの理解が深まり、よりよい形をつくりあげていくことが大切になってきます。196名の生徒が、多くの学びや喜びを得てくれることを願っています。

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

§1 心を込めた主張、聴衆の心を動かす ～2名の生徒が優良賞を受賞～

9月5日に江津市総合市民センターで開催された「少年の主張 江津市大会」に、本校から2名出場しました。多くの聴衆が見守る中、それぞれが日頃から考えてきた思いや課題に対する意見を、自分の言葉で真摯に発表しました。その結果、2名ともに見事「優良賞」を受賞するこ



とができました。これまでの努力や発表に向けて積み重ねてきた準備の成果が形となって表れたとともに、自らの考えを発信する力や成長が認められたことは、大きな喜びであり、今後の学びへの励みとなりました。

§2 反射タスキでつなぐ地域の絆 ～「キラリ推進隊」に委嘱されました～

9月12日に江津警察署の方々が来校され、本校生徒が「反射材着用推進隊 キラリ推進隊」の委嘱を受けました。この委嘱は、交通事故防止の一環として、反射材の重要性を理解し、自ら着用することはもちろん、地域の方々にも広めることを目的としています。

委嘱式では、江津警察署長さんより「皆さんの行動が、地域全体の安全意識を高める大きな力になります。

夕暮れ時や夜間の外出時には、ぜひ反射材を活用してください。」とのお話がありました。その後、生徒会長に委嘱状が手渡され、そして生徒代表が堂々と宣誓を行い、正式にキラリ推進隊の活動がスタートしました。



〔委嘱式の一場面より ～生徒代表による宣誓～〕

今後は、下校時に反射タスキの着用を呼びかける啓発活動を通じて、安全で安心なまちづくりに貢献していきます。キラリ推進隊の今後の活躍にご期待ください。

§ 3 学校評価アンケート（前期分）の結果

このたび実施いたしました学校評価アンケート（前期分）では、ご多用のところ多くの保護者の皆様にご回答をいただき、ありがとうございました。

以下に、主な結果と今後の方向性についてお知らせします。

生徒・保護者・教職員の各回答が肯定的であった項目

※肯定的回答とは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が80%以上を指します。

- Q. 青陵中はよい学校になってきた。
→ 全体の90%以上が肯定的に回答した。
- Q. 「チーム青陵」ということを意識して生活した。
→ 生徒・教職員ともに高評価（95%以上）。特に、ほとんどの生徒が肯定的に回答した。
- Q. 目標や意欲をもって生活しようとした。
→ 生徒（99%）・保護者（88%）の評価がこれまで以上に向上していると回答した。
- Q. 友達と一緒に考えたり、協力したりしながら学習した。
→ 生徒・職員ともに高評価（99%）。生徒の肯定的評価が向上していると回答した。
- Q. 明るく元気に生活できた。
→ すべての生徒が肯定的に回答した。
- Q. 親や先生、友達の意見や考え、アドバイスを聞こうとした。（生徒）
- Q. 子どもは、素直に育っている。（保護者）
→ 生徒の肯定的評価が向上している。（93%→99%）
- Q. 学級の仲間の考えや話をきちんと聞こうとした。
→ すべての生徒が肯定的に回答した。
- Q. 学級や学年、部活動などでは助け合って生活している。
→ すべての生徒が肯定的に回答した。
- Q. いじめなどをせず、相手の気持ちを考えて仲間を大切にしようとした。
→ ほとんどの生徒・保護者が肯定的に回答した。

生徒・保護者・教職員のそれぞれの回答間に30%以上の差があった項目

- Q. 学習用タブレットを活用して、学習に取り組むことができた。（生徒・教職員）
- Q. 学習用タブレットを活用して、家庭学習に取り組んでいる。（保護者）
→ 保護者の回答（43%）と生徒（96%）・教職員（80%）の回答に大きな差があった。
- Q. 交通ルールや校則を守って生活した。
→ 生徒（99%）・保護者（95%）の回答と教職員の回答（57%）に大きな差があった。
- Q. いろいろな人の話を聞くことを通して、自分の将来について考えた。（生徒・教職員）
- Q. 子どもは、将来のことを意識しながら生活している。（保護者）
→ 生徒の回答（96%）と保護者（53%）・教職員（57%）の回答に大きな差があった。

以上の結果をふまえ、家庭学習や将来について考えること、学校の決まりなどを守ること、キャリア教育の視点からも大切な学びと考えています。今後も「なぜ学ぶのか」「なぜルールがあるのか」を丁寧に伝え、生徒が自分で考え行動できる力を育てていくよう、日々の教育活動で支援を続けてまいります。保護者や地域の皆様には、ご理解とご協力をお願いとともに、引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。